

# 平成27年度 学校関係者評価委員会の報告と学校の改善策 世田谷区立富士中学校

世田谷区立富士中学校 校長 小松 昌之  
学校関係者評価委員会 委員長 黒木 美枝

平成20年度より学校関係者評価というシステムになり、今年で8年目になりました。保護者・生徒・地域の方からいただいた「関係者アンケート調査の集計結果」と、教職員による「自己評価報告書」及び「学校関係者評価委員会の報告と学校の改善策」は、例年どおり3月中に富士中のホームページ上で公開いたします。過去の報告もあわせて御覧いただき、今までされた数々の提言と回答等も確認していただければ幸いです。ここでは次年度に生かせるような包括的な報告と提言をさせていただきます。どうぞ、よくお目通しいただき、富士中の更なる発展のために御支援・御協力をお願いいたします。

## 学校関係者評価委員会の報告

(回答を求めた項目)

## 学校の改善策

—学校関係者評価アンケートと自己評価報告書の分析の中から—

### I 重点目標について

富士中では、学校の重点目標として「教育の質の向上を図り、確かな学力を育成する」「生活指導の充実に努め、豊かな人間性を育む」「地域教育基盤の確立と開かれた学校づくりをとおして、思いやりの心と地域への感謝の心を育成する」の3点を挙げ、それぞれに数値目標を設定しています。「教育の質の向上を図り、確かな学力を育成する」だけは、昨年からの教員の休職にともなう、子どもたちの戸惑いや、保護者の不安から、更に数値が下がったのではないかと思います。具体的な対策を講じてはいるものの、結果に結び付けるための更なる努力が必要です。他2点の項目につきましては、ほぼ数値目標をクリアしています。

学校評価を踏まえて設定した重点目標のうち、「教育の質の向上を図り、確かな学力を育成する」については、昨年度に引き続き、数値目標において課題を残しました。

保護者や生徒の学力向上に対する関心や期待は高く、確かな学力を育成するためには、教育の質の向上と量の確保が欠かすことのできない要因であり、質の向上を図るためには、授業力向上は不可欠です。そこで、年間3回の授業研究と全教員が年1回以上の研究授業を実施し、「諸学力調査」や学校関係者評価による評価を全教員で検証し、指導方法の工夫・改善に取り組みます。保護者や地域の方々が、教育活動への理解を一層深めていただくとともに、協力や支援を受けながら、教育活動の更なる充実に向けた取組の工夫と改善に努めます。

### II 地域とともに子どもを育てる教育について

地域運営学校に指定されて7年目になりました。クリーン作戦、避難所運営訓練、古着回収、グリーンアカデミー、挨拶運動や代沢地区文化スポーツ交流会等の地域活動・ボランティア活動をとおして、地域との交流を図っています。地域の方々と「出会い」、そこから「学び」「気付く」。出会った人たちの生き方や地域や社会で起きていることを知ることから、自分の生活や生き方を見つめ直す機会となっています。また「豊かな知力」「豊かな人間性」「ことばの力」を重点目標として、「富士の学び舎」の教育活動が取り組まれています。小学校5校と富士中とで作られた世田谷9年教育にのっとり、小中連携も計画的に行われています。それらの活動は継続され、安定していますが、更なる取組みに期待します。

地域運営学校として、学校協議会の一層の充実を図り、情報を公開して、コミュニケーションを活性化させ、「学校運営委員会」との連携を深め、地域力の導入を図ることにより、開かれた学校づくりのための地域連携の充実を推進していきます。また、義務教育の9年間で育てたい力・資質の実現に向けた取組を充実させ発展させるために、地域の人材及び教育力活用の工夫にさらに努めます。併せて、学校協議会や地区委員会、諸便りなどをとおして、保護者・地域の方々に学校への理解をより一層深めていただき、御支援と御協力をいただきながら教育活動を推進します。

### III 未来を担う子供を育てる教育について

富士中は学習の「質と量」を常に大切にしています。

本校では、「教育の質の向上」と「教育の量の確保」

<p>質としては、数学・英語における「少人数習熟度別授業」の実施、全教員による授業研究・指導方法の工夫に取り組んでいます。併せて各教科において「ＩＣＴ活用授業」の推進を図っています。量としては、授業時数の確保に努めています。さらに、富士中独自で実施している放課後学習・夏季補習教室や富士サスタ、区の施策としての土曜講習会・朝授業(3年生)等も定着しています。また、職場体験学習は2年生を対象に9月に実施されました。地域社会の実践の場に立つことは、自立的に社会生活を送るために必要な「人間としての実践力や生きる力を育む」重要な学びの場となっています。さらに、富士中では昨年度から始まった「いじめ防止プロジェクト」が1年生を対象に4月に実施されました。重点目標である「確かな学力を育成する」ことや「豊かな人間性を育む」こと、これら「質と量」を大切に作る取り組みは、今後も維持に努めてください。</p>	<p>に努め、具現化に向けた様々な取組は本校の特色になっています。今後も、繰り返し学習する内容及び発展的に学習する内容を取り上げ、基礎的・基本的な知識・技能を定着させ、アクティブ・ラーニングを導入することにより、考える力(思考力・判断力・表現力等)を育てる学習を展開していきます。</p> <p>また、生徒にとってよりよい学校生活を送ることができるよう、規律ある生活態度の育成や規範意識の醸成、より良い人間関係の構築等を目標とした指導に、今後も組織的に取り組みます。また、自他の生命を尊重する心やすべての人への思いやりの心を育てる人権教育の、より一層の充実にも努めます。</p>
<p><b>Ⅳ 信頼と誇りのもてる学校づくりについて</b></p> <p>学校経営方針に示された目標が、教職員には浸透しているものの、生徒・保護者においては学校の運営評価は昨年度より全体的に下がりました。昨年度から1年生全員に対し、スクールカウンセラーとの面談が実施され、認知度が昨年度に比べて少し上がりました。また「富士中だより」には、スクールカウンセラーからの「相談室より」に毎回、多岐にわたる情報が詳しく載っています。「相談室より」の内容は、大人にも役立つ情報です。保護者・地域の皆様には、ぜひお読み返しいただきたいと思います。また、ゲストティーチャーの講義は毎年工夫されており、進路指導やキャリア教育とともに多面的な成長に欠かせないエッセンスになっています。学校運営の今後の取り組みに、より一層の努力をお願いします。</p>	<p>学校に対する保護者や地域の願いを理解し、学校経営方針に基づいた教育活動の推進に継続して取り組むとともに、保護者・地域にも浸透するように情報を幅広く発信するように努めます。また、教育二一ズに的確に応じた教育支援の在り方を追求し、個に応じた支援をとおして、個性や能力を発揮しながら人とかわかることのできる生徒の育成をめざすために、スクールカウンセラーや関係機関と連携した指導をより一層充実させます。</p> <p>ゲストティーチャーをさらに活用することにより、生徒が自己の将来に見通しを持ちながら学校生活に臨み、自己実現に向けて意欲的に取り組むことができるようにするための指導の工夫に取り組みます。</p>
<p><b>Ⅴ 教育環境の整備について</b></p> <p>今年度までで冷水器5機が全て新しくなりました。昨年度、そのうちの1機の冷水器と排水管のつなぎ目から、悪臭がしているという指摘がありましたが、体育館棟トイレの悪臭対策も含め、今年度は改善されています。さらに、体育館の外壁コンクリート改修工事も完了しました。しかし、まだ未設置の教室へのエアコン設置や学校図書館の運営など、環境改善は引き続き御検討ください。また、地域の方の御厚意で絵画の寄贈があり、昇降口の廊下に設置されました。設置に至るまでの準備、関しましても、PTAの御協力に感謝いたします。</p> <p>芸術作品に触れられる環境作りへの皆様の御協力に感謝するとともに、更なる連携をお願いします。</p>	<p>教育環境の整備について、区や保護者の方々の御理解のもと、区と連携を図りながら改善に取り組んできました。さらなる教育環境の整備に向けて、今後も、区との連携を図りながら継続的な改善に取り組めます。</p> <p>また、学校図書館の運営については、生徒に本の魅力を実感させたり、読書と生活を関連付けさせたりすることで読書への意欲を高めるために、地域や保護者と連携した読書活動の工夫に取り組んでいきます。</p>

<p><b>Ⅵ 学校生活全般について</b></p> <p>肯定的な意見が生徒・保護者ともに、平均して73%程でした保護者の結果では、「学習指導について」「進路について・相談する機会が提供されている」「地域との連携について」の各項目が昨年度より上昇しました。特に学習指導については、全項目が上昇しました。アンケートの自由意見欄には、生徒・保護者から多様な意見が寄せられています。その期待に応えられるように、「豊かな人間性を育む～個に応じた教育支援の充実～」をテーマにした世田谷区研究指定校としての教育支援の工夫、成果も生かし、生徒一人ひとりが落ち着いた環境で学習や学校生活に取り組み、自己を成長させる活動に臨める学校づくりをお願いします。</p>	<p>教育計画に沿った教育活動を円滑に進めるために、様々な工夫をしています。これからも、生徒・保護者・地域の方々に教育計画の内容を正しく認識していただくための説明を継続し、理解を得ながら教育活動を進めるように配慮いたします。</p> <p>一人ひとりの生徒が、教育活動の様々な場面で自己のもつ能力を十分に発揮しながら成長していけるように、生徒理解を基本に、個に応じた指導と教育相談活動を充実させ、特別支援教育コーディネータやSCと連携を図りながら、生徒一人ひとりの心の安定を図り、個に応じたきめ細やかな指導を組織的に実践するための取組を継続させます。</p>
<p>—学校関係者評価委員会の総合所見—</p>	
<p><b>Ⅶ 学校評価委員会の総合所見</b></p> <p>評価委員会としては、まず先生方の日常の努力に感謝いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教職員による自己評価報告書を見ると、内容も具体的です。学校が地域の学校として意欲的に取り組んでいることが分かります。</li> <li>2 セーフティー教室や情報モラルの授業に関しては、生徒・保護者・地域とも85%以上の評価を得ています。定期的に行われている安全指導や避難訓練、地域との連携による避難所運営訓練、災害時対応などの保護者への情報提供、校内現況や衛生面など、学校の安全性に対しての数値は、全体的に昨年度とほぼ同等の評価です。保護者・地域の方々とともに、安心・安全な学校づくりへ更なる努力と密な連携をお願いします。</li> <li>3 生徒たちは富士中が好きで誇りをもっており、楽しく学校生活を送っていることが分かります。しかし今年度は、どの項目においても評価が下がりました。生徒たちにとって最大の教育環境は教師自身の姿そのものであり、人間としての豊かさや広い分野での教養を求められると思います。学習面でも「質と量の確保」をこれからも続けていただくとともに、生徒たちと向き合う時間の確保にも御尽力をお願いしたいと思います。また、各御家庭・地域の皆様におかれましても、手本となる良き家庭環境・地域環境として温かく子どもたちを見守っていただきたいと思います。</li> <li>4 保護者による「さよなら、声かけ当番」は、今年で16年目になりました。わが子だけではなく、地域の子どもの様子を知る良い機会となっています。「子どもたちを見守る」この素晴らしい取り組みを、ぜひ継続していただきたいと思います。</li> <li>5 今年度も、夏の部活動合宿は106名の参加により夢科で実施されました。校長先生、先生方、顧問、外部指導員、看護師をはじめ、支えてくださいました関係者の皆様に感謝いたします。</li> <li>6 学校を取り巻くいろいろな環境が、年々、整備かつ改善されていることを評価いたします。なお、継続する課題につきましては、引き続き御検討をお願いします。</li> </ol> <div style="text-align: right;"> <p>学校関係者評価委員会</p> <p>委員長 黒木 美枝</p> <p>委 員 渡邊 真弓</p> <p>委 員 須藤 啓子</p> <p>委 員 長塚千佐子</p> <p>委 員 横光 香里</p> <p>委 員 中村 説子</p> </div>	